

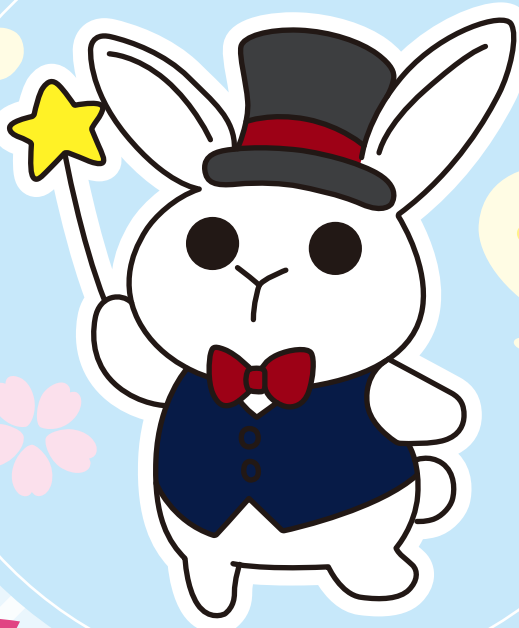
OSAKA UNIVERSITY OF ECONOMICS LIBRARY

としまがん

113

2026.4.1

大阪経済大学図書館報



Spring

CONTENTS

特集

読書が苦手な人や読書初心者にもおすすめの本

- 入学前の不安、大学生活の中でどう変わった？
- 図書館学生サポーター大募集中！
- ビブリオバトル開催！
- 2025年間貸出回数ランキング
- 編集後記



読書が苦手な人や読書初心者にも

おすすめの本



かれさん おすすめ



『最高のアフタヌーンティーの作り方』 古内一絵 著

請求番号 913.6/Fur 資料ID 50100351

アフタヌーンティーを提供している老舗ホテルで働く社員のお仕事小説です。複数の登場人物に焦点を当てた短編集なので、初心者でも読みやすいと思います。職場での人間関係や働き方、将来の方向性など、登場人物によってさまざまな悩みがでてきますが、同僚との関わりを通して新しい考え方に気づき、前向きになっていくところが印象に残りました。作中に出てくるお菓子が美味しそうに書かれているところもおすすめポイントです。

『ビジネスマナーと仕事の基本ゆる図鑑 2時間で仕事がデキる人になる!デジタル対応版』 岡田充弘 監修

請求番号 336.4/Oka 資料ID 50104386

皆さんビジネスのマナーってご存知ですか?恥ずかしながら僕はあまり知りませんでした。そこでこの本を読んだのですが、1ページごとの情報量が少なく、要点がイラストでまとめられており文章を長く読む必要なくスイスイ読めました。あいさつや報連相などの基本が具体例つきで書かれており「こうすればいいか」とイメージできます。読書経験が少ない人でもイラストと要点で簡単に読めて基礎が身につく本だと思います。



.comさん おすすめ

星の王子さま

Le Petit Prince

サン＝テグジュペリ作
内藤 洋訳



『星の王子さま』 サン＝テグジュペリ 作

請求番号 B2267/953 資料ID 5008807

本作は、人生という誰もが歩み、色々な事柄であふれているものに対して、「大切なものは、目に見えない」という有名なフレーズを初め、愛やいのちとは一体どういう物なのか、といった人生における大きな問題に対して一種のアンサーを備えた作品です。大学に通っている私たちは大人です。大人になってしまったからこそ、視野が広がってしまったからこそ、子供にしかない純粋な視点に、私たちはハッとさせられるでしょう。

F.T.さん おすすめ

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

みなさん、本を読むのは好きですか?なかなか読み進められない、読書は苦手、という人もいると思います。図書館学生サポーターが、そういう人にも読みやすいと思う本を選んでみました。いろんなタイプを紹介しているので、あなたに合う本がきっとあると思います!

妄想銀行

星新一



『妄想銀行』 星新一 著

請求番号 X2526/913.6 資料ID 50112753

みなさんは「ショートショート」という文学ジャンルを知っていますか。ショートショートは非常に短い物語で、限られた文章の中に独特な発想が詰め込まれています。今回紹介する『妄想銀行』は、ショートショートを日本に広めた作家・星新一による短編集です。本作では、不思議な世界観の中で社会への皮肉が巧みに描かれています。短時間でさまざまな物語を楽しめる一冊なので、少しでも気になった方は、ぜひ読んでみてください。

Sさん おすすめ

『なぜ、コメダ珈琲店はいつも行列なのか?』 高井尚之 著

請求番号 673.9/Tak 資料ID 50087248

私はコメダ珈琲店によく行きます。本書は、そんなコメダ珈琲店の歴史や料理へのこだわり、経営戦略などが詰まった一冊です。写真が多く掲載されており、店内の雰囲気イメージしながら読むことができます。また、競合であるスターバックスやドトールコーヒーとの違いを知ることができます。また、競合であるスターバックスやドトールコーヒーとの違いを知ることができます。読書と実際の体験を結びつけることができるため、読書に慣れていない人でも読みやすい本だと思います。



ともやさん おすすめ

『掟上今日子の裏表紙』 西尾維新 著

請求番号 913.6/Nis 資料ID 50090455

一日経てば全ての記憶を忘れてしまう、けれど驚きの明晰力で必ず事件を解決に導く『忘却探偵』の掟上今日子。そんな彼女は事件の現場で血まみれの凶器を握り眠らされ、強盗殺人の疑いで逮捕されてしまう!事件の内容も何も覚えていない、絶体絶命のピンチの中で彼女が取った行動は……!過去にドラマ化された人気ミステリー作品!初心者だからこそ読んで欲しい、展開が気になって止まらなくなる作品です!!



クノミさん おすすめ

入学前の不安

大学生活の中で どう変わった？

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

大学生活が始まったばかりの時期は、期待と同時に「ちゃんとやっつけていけるかな」「周りに馴染めるかな」といった不安を感じる人も多いと思います。このページでは、先輩学生も実際に感じていた不安と、大学生活の中でそれをどう乗り越えてきたのかを紹介します。新入生のみなさんが、少しでも安心して大学生活をスタートできれば嬉しいです。



教職課程を履修したことで、同じ授業を何度も一緒に受ける人ができ、自然と顔見知りが増えました。

最初の一言は緊張しますが、共通の授業や課題があることで会話は続きやすいと感じました。

友達ができるか不安だった

知り合いがいない状態で大学に入ることに不安を感じていました。高校までのように自然に友達ができるのか分からず、最初は戸惑いもありました。

オリエンテーションや語学の授業など、少人数で話す機会のある授業では、思い切って近くの人に話しかけてみました。

無理に友達を作ろうと焦らず、同じ時間を過ごす中で少しずつ関係ができていくと分かり、気持ち became 楽になりました。

分からないことは早めに確認することで、不安をため込まずにすみました。

課題やレポートは、内容よりも「期限を守ること」が大切だと学びました。授業中に、提出方法や評価基準などの大事な説明があることが多いため、聞き逃さないよう意識しました。

単位がきちんと取れるのか不安だった

大学の授業は自己管理が必要だと聞き、ついていけるのか心配でした。

実際に授業を受けてみて、毎回出席し、先生の話をしっかり聞いていれば、過度に心配する必要はないと感じました。

ガクチカ(学生時代に力を入れたこと)をどうすればいいのか不安だった

今から「何か特別なことをしないといけないのでは」と感じていました。

ガクチカは、特別にすごいことをしなくても大丈夫だと気づきました。アルバイトや授業、ボランティアなど、日常の中で続けてきたことも立派な経験になります。大切なのは、「何をしたか」よりも「そこから何を学んだか」だと思います。自分のペースで取り組んだことが、後から振り返ると自信につながりました。

新入生のみなさんへ

入学前に感じる不安は、大学生活の中で経験を重ねるうちに少しずつ小さくなっていきます。焦らず、自分のペースで行動し、困ったときは周囲や大学のサポートを頼ってください。図書館も、勉強だけでなく安心できる場所の一つとして、ぜひ活用してほしいです。

図書館学生サポーター 大募集中!

大阪経済大学では、この図書館報「としよかん」の編集や、ビブリオバトルの運営に、図書館学生サポーターというボランティアが携わっています。今回は、新入生を含めたさまざまな人に図書館学生サポーターの活動を身近に感じてもらうために、今春卒業のサポーターに、活動を振り返っての思い出や感想をインタビューさせていただきました。



図書館学生サポーターの川畑先輩にインタビュー

活動について

学生サポーターに所属していた期間と何をやってたか役割と全体の雰囲気教えてください。

入った時期は一年生の四月か五月だったと思います。役割は三年生になりました。それまでは展示コーナーや図書館報の制作、学年があるにつれてビブリオバトルの司会ともしていました。

雰囲気はどうでしたか?
穏やかな感じでサポーターも図書館の職員のかたもみなさん暖かい感じでした。

思い出ややりがい 苦労したこと

活動の中でなにか心に残った思い出などはありますか?

いろんな人と関わられたことと図書館報の作成が一番楽しかったです。理由としては一つのものゼロ口から作り上げて、新一年生を含めた人々に届けるというのがやりがいでした。

活動の中で苦労したことはありますか?
展示や館報のテーマが決まったときにテーマにあった本を選ぶのが難しくな

た本がほかの人にも刺さるかどうかはわからないのでそこで苦戦しましたね。

学びや成長

これまでの活動を通して学びや成長を感じる部分があれば教えてください。

ビブリオバトルの司会を経験したことが成長につながったかなと感じています。

運営側として参加するなかでもサポーター側の音響スライドなどを最初はやっていたんですけど図書館職員の方が「やってくみたら」と言ってくれて司会にも挑戦できました。

緊張はしませんでしたか?
緊張はもちろんしたんですけど、自分が運営側に携わっているという意識がやりがいにつながっています。

前人に立つ関連の話だとたくさん新入生の前で話したこと、今までやったことないことをやった」ということが自分の中で成長かなと思っています。学びとしては自分が動かないと始まらないってこういうのがあって、苦労した話に重なるかも

しれないですけど今まで自分からグイグイ行く感じじゃなくて人の話をきいて賛成する感じだったんですけど、サポーターの人数が少ないときがあったので、自分が動かないと全然進んでいかないのでそれが学びがあったのでそれが学びかなと思っています。

最後に

最後に新入生に向けてお話しします。

四年間は本当に短いのでやりたいなと少しでも思うことがあったらどんな挑戦してほしいなと思います。もしよかったら図書館学生サポーターにも参加してみてもいいです。入る前は本をもつとく好きな人ばかりだと思っていたんですけど、そういうわけでもないの、ぜひ気軽に参加してみてください。

このインタビューがきっかけになればともうれしいですね。
ありがとうございました。

図書館学生サポーターの松尾先輩にインタビュー

活動について

学生サポーターに所属していた期間と何をやってたか役割と全体の雰囲気を教えてください。

一年生の五月頃から四年間ほとんど在籍していて、三年生の時にリーダーをしていました。

雰囲気はどうでしたか?

和気あいあいとしていて、本以外の話もするところが、あの図書館の人も仲間良くなったので、交友関係が広がりました。

思い出ややりがい 苦労したこと

活動の中でなにか心に残った思い出などはありますか?

一番の思い出は一年生に参加したとき、一人のビブリオバトルでいきなり一人で司会を務めることになり、その時教室のマイクが壊れてしまい、声を張って喋るのが、しんどかったです(笑)人前で喋るのが苦手という訳ではないのですが、こうして経験が自信に繋がりました!仲間と一緒に何かをした、自分がやってきたことが館報という一つの形になること、人前で喋ったり、文章を書くことが、自分自身のス

キルアップに繋がったのは大きなやりがいでした。

活動の中で苦労したことはありますか?
私がリーダーになったとき、他のメンバーをどうやって参加させるかということに、すごく苦労しました。

学びや成長

これまでの活動を通して学びや成長を感じる部分があれば教えてください。

人前で喋れるようになったのは、自分が教育実習をしていたのもあって、すごく身になりました!文章を作る能力やポスター、チラシなどを作れるようになったのは、大学のゼミや、大学を出た後も役に立つので出来るようになって良かったと思います。

最後に

最後にひとことお願いします。

図書館サポーターはやっていることが幅広、文章、人前で話す、ポスター作製、学祭など、色々経験出来るのが良いです。ストイックではなく、ゆるく活動しているの、気軽に入ってらって、いい経験を積んでほしいです!



ビブリオバトル開催

本学では、春学期と秋学期に1回ずつ、毎年2回ビブリオバトルを開催し、また全国大学ビブリオバトルのブロック決戦主催もしています。
2025年秋学期に開催および本学学生が出場したビブリオバトルをご報告します。



第29回ビブリオバトル

10月31日(金)5限目に、図書館1階ラーニング・コモンズで第29回ビブリオバトル(全国大学ビブリオバトル2025 関西Dブロック地区予選)を開催しました。

今回はハプニングで2名のバトルになりましたが、バトラー経験のある2名が、おすすめの本を紹介してくれました。観客のみなさんには熱いバトルを楽しんで頂けたのではないかと思います!

バトラーをはじめ、図書館学生サポーター、観客として参加して下さいましたみなさん、ご協力下さったすべてのみなさん、どうもありがとうございました!

チャンプ本

『ベンチャーの作法:「結果がすべて」の世界で速さと成果を両取りする仕事術』 / 高野秀敏 著

Comment チャンプコメント

「読んでみたいと思った本に投票してください」
ビブリオバトルにおける妙は、ここにあると思います。バトラーが言葉を尽くしても、評価軸はリスナーの主観的な興味です。けれど、言葉を尽くさなければ、その興味を惹くこともできない。私は、その場で生まれるバトラーとリスナーをつなぐ「何か」を体感したくて参加しました。終わった後にいただく感想は人それぞれです。そこには私とリスナーを結ぶ「何か」が言葉として定義されていて、とても面白いと感じました。

Message 紹介本を読む人へのメッセージ

「ベンチャー」という言葉がカッコよく聞こえる。そんな人も多いのではないのでしょうか。けれど、そうした風潮が生まれたのは、ここ数年のことです。実は2010年代後半まで、ベンチャーに行こうとする人は傾奇者のように見られることもありました。今では新卒からベンチャーを選ぶことも、すっかり普通になっています。私たちは、そんな「普通」のなかで生きています。そう考えると、少し先にベンチャーでの過ごし方を知っておくのも、一興ではないでしょうか。

第29回 ビブリオバトルチャンプ

経営学部4年生

奥野 智大さん

運営スタッフ感想

Sさん

今回のビブリオバトルでは、スライドや音響を担当しました。バトラーの方による本紹介はどれも魅力的で、思わず読んでみたくなるものばかりでした。図書館学生サポーターとして運営に携われたことをうれしく思います。少しでも興味のある方は、ぜひ参加してみてください。

ビブリオバトルとは？

- 1 発表者(パトラー)が他の人に勧めたい本を持って集まる
- 2 順番に一人5分間で本を紹介する
- 3 2~3分間のディスカッションタイム
- 4 最後に「どの本が一番読みたくなかったか」を観客が投票で決める

全国大学ビブリオバトル2025 関西Dブロック決戦



第29回ビブリオバトルに引き続き、10月31日(金)6限目に図書館1階ラーニング・コモンズにて、全国大学ビブリオバトル2025 関西Dブロック決戦を開催しました。

関西Dブロック決戦には、本学の第28回および第29回ビブリオバトルのチャンプと近隣の3大学で開催されたビブリオバトル地区予選のチャンプが、ともに戦いました。

会場には他大学からも多くの観客が来ていただきました。

チャンプ本

『世界でいちばん透きとおった物語』 / 杉井光 著

全国大学ビブリオバトル2025

inながさきピース文化祭 結果報告

11月23日(日・祝)、アルカスSASEBO(長崎県佐世保市)にて「全国大学ビブリオバトル in ながさきピース文化祭2025」が開催されました。

本学から関西Dブロック決戦を勝ち抜いた尾崎さんが出場し、全国各地のブロック決戦を勝ち抜いた学生たちとともに、本を巡って戦いました。

6グループに分かれて行われたセミファイナルでは、個性豊かなパトラー達の中で、尾崎さんも発表本の魅力について熱く語ってくれました。今回は残念ながらファイナル進出は叶いませんでしたが、全国から集まった精鋭たちを相手に、見事な戦いぶりを魅せてくれました!

ファイナルに出場した学生が紹介した本6冊は、図書館1階西側ラーニング・コモンズで展示中です。



全国大学ビブリオバトル関西Dブロックチャンプ

経営学部3年生

尾崎 心紀さん

Comment ビブリオバトルに出場した感想

今回、全国大学ビブリオバトルに出場し、本が好きなたちとたくさん出会うことができました。代表者のみなさんの発表はどれもレベルが高く、発表を聞いている中で、みんな本当に本が好きなんだという気持ちが強く伝わってきました。自分も負けられないように全力で発表しましたが、残念ながら決勝に進むことはできませんでした。それでも、代表者の方々と本について語り合えたことや、自分が「これはすごい!」と思ったこの一冊を、会場に来てくださった方々に紹介できたことは、とても良い経験になったと感じています。今年もまたビブリオバトルに挑戦し、次こそはリベンジできるように頑張りたいです。

Message 紹介本を読む人へのメッセージ

この本は、ただの小説ではなく、最後のどんでん返しがとても凄まじいミステリー小説です。物語を読む中で違和感が少しずつ積み重なり、最後のページで、すべてのトリックが明らかになります。最後のページを読んだ瞬間、「え、まじかよ!」と声が出るほど驚くと同時に、強烈な爽快感を味わえました。この本でしか味わえない読書体験を、まだ経験していないみなさんが羨ましいです。ネタバレ厳禁。だからこそ、ぜひ何も知らないまま、この一冊を開いてみてください。

貸出回数 ランキング

2025年1月～12月

当図書館で、2025年の1年間に、学部生によく貸出の利用があったものを調べてみました。みなさんが読んだ本もランクインしていますか？まだ読んでいないもの、気になるものがあつたら、ぜひ今後の読書の参考に使ってみてください！



一般図書

順位/タイトル/著者/貸出回数

(※就職・資格・旅・語学・PBは除く)

1位	成瀬は信じた道をいく	宮島未奈	11回
1位	告白	湊かなえ	11回
1位	変な家2：11の間取り図	雨穴	11回
2位	汝、星のごとく	凧良ゆう	10回
2位	生殖記	朝井リョウ	10回

3位	変な絵	雨穴	9回
3位	変な家	雨穴	9回
3位	嫌われる勇氣： 自己啓発の源流「アドラー」の教え	岸見一郎、 古賀史健	9回
3位	禁忌の子：We were born	山口未桜	9回
3位	Q&A日本経済のニュースが わかる！2025年版	日本経済 新聞社編	9回

「め・く～る」コーナー

順位/タイトル/著者/貸出回数

(※学部生のみが借りられる「め・く～る」設定期間の3か月間の貸出回数)

1位	マスカレード・ライフ	東野圭吾	6回
2位	図解 眠れなくなるほど面白い 語彙力の話	五百田達成	5回
2位	イン・ザ・メガチャーチ	朝井リョウ	5回
2位	人は話し方が9割2： 1分でもっと人を動かし、 100%好かれる話し方のコツ	永松茂久	5回

2位	あつという間に人は死ぬから： 「時間を食べつくすモンスター」の 正体と倒し方	佐藤舞	5回
2位	入社1年目の語彙力ノート： 知らないと恥をかく	齋藤孝	5回
3位	このオムライスに、 付加価値をつけてください	柿内尚文	4回

☆「め・く～る」コーナー…ベストセラーなど、大学での学習に直接関係はないが学生向けと思われる読みやすい本

編集後記

① 今回も盛りだくさん内容になっています。図書館学生サポーターとしてさまざまな活動ができたことは、大学生活の大きな思い出です。

② 図書館報の作成など、印象に残っていることはたくさんありますが、特にビブリオバトルの司会を通して成長できたと思っています。

③ 4年間ありがとうございました！

かれ

今回の図書館報では、短い時間でも楽しめる本を紹介しました。新生活の合間や、少し気持ちを落ち着けたいときなどにぜひ読んでみてください。図書館報を通して、新入生の方にも読書や大学図書館が身近な存在になればうれしいです。

S

今回、館報の原稿を執筆するにあたり、初めて長い本を読んだ時のことを考えました。はじめは難しいと感じながら挑戦したのを覚えています。今回の企画をきっかけにもっと多くの人に読書を楽しんでほしいと思います。

ともや

④ 今回初めて館報の作成に参加させていただきました。本紹介では、10人のうちの1人だけでも本を手にとって読書して貰えるように意識して紹介したつもりです。この季節色々なことがあって皆様大変だと思いますが、そんな時本に身を委ねてほしいです。

F.T.

僕の学生生活を振り返ってビジネスマナーに触れる機会は本当に少なかったと感じており、その分経験が少なく、就活に不安があります。今回本を読んで、僕には少し余裕が足りないのだと思いました。皆さんはどうでしょう。学生生活が残りのくらくらかわかりませんが、お互いがんばりましょう！

.com

今回選べていただいた本は自身の中学時代の思い出の一つでもある本です。春は出会いの季節とも言います。ぜひこの本が皆さんの読書活動のスタートとなり、これからたくさんの本との出会いとなってくれたら嬉しいです。

クコノミ

大阪経済大学図書館

2026年4月1日発行

〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2丁目2-8

Tel.06-6328-2431(代表)

<https://www.osaka-ue.ac.jp/research/library/>

